

様
病名 発作性心房細動・心房細動 症状

入院病日経過 月 日	入院(治療2日前)	入院2日目(治療前日)	治療当日	治療後1日目	治療後2日目	退院日	
目標	心筋焼灼術について理解ができる		不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる			
指導・説明	<ul style="list-style-type: none"> 治療当日までに主治医より説明があります。(ご家族と一緒に) 病棟看護師より説明があります。 《準備するもの》 ・T字帯 1枚、ストロー又は横飲み ・希望時、栄養士より食事指導が受けられます。		《治療前》 ・朝、採血をします。 ・治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 ・禁食時の薬は少量の水で飲んで下さい。 ・医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射、抗凝固薬が止まる場合があります。 ・集中治療室1泊入室の準備をしてください。 ・冠血管拡張剤テープを腕に貼ります。 ・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・点滴を開始し、尿管を入れます。 ・穿刺部(両足の付け根)を除毛し、前貼りをします。 ・動脈触知部位(足の甲)に印を付けます。 ・弾性ストッキングをはきます。 ・寝衣は全て脱ぎ長寝巻をかけます。 ・貴金属、入れ歯等、身につけている物をすべて外します。 ・1階の血管造影室へベッドで行きます。	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室から病棟に戻ります。 	・退院後の日常生活や再診日について看護師から説明があります。 		
食事	特別な栄養管理の必要性 (有)・無 ・塩分やカロリーが制限された食事になります。 ・経食道心エコー検査のため、昼食は禁止です。		・麻酔科医師の訪問があります。 ・集中治療室の看護師より説明があります。 	・制限食が続きます。  			
点滴注射 内服薬	・内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し看護師に渡して下さい。 ・医師の指示により中止になる薬もあります。		・点滴の針を入れ当日に備えます。  ・治療中・治療後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。	・医師の指示で、内服薬の調整が行われることもあります。 ・薬剤師より内服薬の説明があります。  			
検査活動 処置	・心電図の機械を付けます。  ・心臓CT撮影を行います。 ・点滴をして、経食道心エコー検査を行います。 ・血圧・脈拍・体温・体重測定を行います。 ・入浴は可能です。□ ・原則、病院内を自由に歩けます。 ・弾性ストッキングのサイズを合わせます。		《治療後》 ・集中治療室に向かいます。 ・血圧、脈拍、体温を測定し、心電図検査を行います。 ・帰宅後3時間は絶対安静、その後は朝までベッド上安静です。出血を防ぐためにとっても大切です。 ・医師の指示で抗凝固薬を再開します。 ・医師より治療結果の説明があります。(ご家族と一緒に)	・朝、心電図と採血を行います。 ・穿刺部の消毒をし、ガーゼ圧迫を継続します。 ・レントゲン撮影があります。 ・冠血管拡張剤テープを除去します。 ・弾性ストッキングを除去します。 ・尿管を抜き、病棟内を自由に歩くことができます。 ・入浴はできないので、体を拭きます。	・穿刺部を消毒し、絆創膏に貼り変えます。	・穿刺部の絆創膏をはがします。 ・心電図の機械を取り、病院内を自由に歩くことができます。 ・入浴が可能になります。 	
その他	・眠れない時は申し出て下さい。 ・胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。			・概算は退院前日にお知らせします。(※場合によっては概算ができないことがあります。) ・穿刺部の痛みや胸部症状がありましたら、看護師に伝えて下さい。			・退院当日に外来棟1階⑤お支払(退院精算)で精算して下さい。(休診日の場合は入院棟1階、28番救急外来受付になります。) ※場合によっては後日清算となる場合があります。

(主治医) _____ 印

(主治医署名)

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 (看護師) _____
 (薬剤師) _____
 (栄養士) _____